

「自由」という言葉は、開放的で素敵なきっかけですが、一から自分で責任を取らなくてはならないので同時にわずらわしいことでもあります。しかし、だからと言って「自由」という言葉にひきつけられることに変わりはありません。では「自由」とは何なのかと言うと、自分のなりたい姿で生きていくことに繋がるのではないかと私は考えています。私の人生を生まれた時から死ぬ時までいつも監視している人はいませんが、いつも見守ってくれている人もいない訳です。生きるのは「自由」の象徴ですが、背負わなければいけない責任でもあるので、自分のことは自分で守らなくてははいけません。そのためには、自分をなりたい自分にしていくのが一番だと思っています。自分を変えと言っても、そんな簡単なことではなく、自分の事が結局は一番わからないように思えたりもします。自分を変えることは、難しいことだと思います。しかし、私は最近、人間関係を見つめ直すことが、自分を変えることに繋がってくるのではないかと思うようになりました。

私は「その人がどういう人かは、その人の友達を見ればわかる」と思っています。自分の友達のことや、周りの人が仲良くしている人のことを想像してみてください。個性的な人の周りには、個性的な人が集まっていたり、人のことをきちんと考えている人の周りには、やはりそのような人がそばにいて、似た人が集まるのだなと思います。自分を変えるには、まずは今の自分の良いところや悪いところを知ることが必要です。しかし、自分のことなのに、自分のことだからなおさら、自分の良いところを見落としたり、気付かなかったりしてしまいますが、ひとの事だと、第三者の立場になれるので、良いところや悪いところに気付きやすいです。私は、周りの友達に対して思っている良いところや悪いところは、それに似ている自分にも言えることなのではないかと思うのです。ですから、人のふりを見て我がふりを直し、なりたい自分になっていくというのが、私の自由に対する考え方です。子供の頃は良い人だったのに大人になってから悪くなった人について、本当は良い人だったのに変わってしまったなどと、こどもの頃の純粋な姿をその人の本来の姿と見なす発言をよく耳にします。私は最近そうではないのかもしれないと思っています。これから人生を始めるといふ生まれたときの姿ではなく、人生を通して最終的に完成した姿が本当の自分なのではないかと思っています。どんな自分になっていくかはその人の自由です。私は、出会っていくものや人たちが自分の一部分になっていくのだと思います。ですから、私は人との繋がりがないと自由になれません。自分の周りに昔いてくれた人にも、今いてくれる人にも、これからそばにいてくれるだろう人にも、この場を借りて感謝したいです。そばにいてくれて、全部が全部うれしいです。本当にどうもありがとうございます。